

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2007～2010

課題番号：19730279

研究課題名 (和文) 企業グループ M&A の経済効果 ～連結会計移行後における企業グループ再編の実証分析～

研究課題名 (英文) Economic Effects of business group M&A in Japan

研究代表者

飛田 努 (Tsutomu TOBITA)

熊本学園大学・専門職大学院会計専門職研究科・准教授

研究者番号：60435154

研究分野：経営学

科研費の分科・細目：若手研究 (B)

キーワード：企業集団 (企業グループ), M&A, 企業価値 (評価), 連結財務諸表

1. 研究計画の概要

(1) 本研究は、連結決算を中心とする会計制度への移行を契機として、日本企業が連結ベースでの企業価値最大化を経営目標とするグループ経営へと移行した事実を鑑みて、こうした環境変化に企業がどのように対応しているのか、グループ再編によってもたらされた経済的帰結を財務的視点から明らかにしようとするものである。

(2) 具体的には、このような経営行動が証券市場においてどのように評価されているのか、とりわけグループ再編が企業価値創造をもたらしているのかを実証的に明らかにしようとするものである。また、企業価値創造を目的としたマネジメント・システムがどのように構築され、実践されているのかを明らかにしようとするものである。

2. 研究の進捗状況

(1) 本研究における研究成果は、過去 3 年

間において、論文 2 件、学会発表 1 件となっており、必ずしも十分な成果が上げられていないと考えている。研究計画段階では財務データに基づく実証分析を中心に考えていたが、発表された論文では定性的なケーススタディを中心とした分析手法が採られており、この点において研究計画段階との齟齬が生じていると考えている。

(2) しかしながら、この間において、分析に必要な財務データ、あるいは企業再編のケース、帰結が報道等で明らかにされてきている。企業グループ内における事業再編に限らず、M&A や合併などの経営統合後に再編を行うような企業群も多々見られ、そうしたケースを整理し、データベース化を進めている。

(3) そのようなことから、本年度は研究期間の最終年であり、一定の成果が求められると考えている。これまで蓄積してきた財務データや M&A データを用いた実証分析はもちろんのこと、他の科学研究費などの研究助成によって進めている共同研究で得られた知見をまとめながら、連結会計中心のディスクロ

ージャー制度への移行という世界的にまれに見る会計制度の変更が日本において、企業行動がどのように変化したのかについて分析を進めていきたい。

3. 現在までの達成度

<区分>③やや遅れている。

(理由)

(1) 当初予定していた財務データを用いた実証分析を中心に考えれば研究目的の達成からはほど遠い。この間に経済環境が大きく変化し、M&A や企業グループの再編が多様化してきたことを踏まえると、研究手法やアプローチを見直すことによって、十分に達成は可能だと考えている。

(2) 一方で、統計的手法による実証分析にこだわらず、ケーススタディを中心にここまで分析してきたことによって、より現実的な視点から分析モデルを構築する必要があることを認識できた。これは4年間という研究期間があることによって、短期的な成果よりもむしろ、企業動向と照らし合わせながら分析モデルを構築できる時間が与えられたものと考えている。

4. 今後の研究の推進方策

(1) 以上のことから、本研究の研究期間最終年として、本年度は学会報告や雑誌論文の作成を通じて、一定の成果が求められると考えている。

(2) 上記で述べたように、現在代表者が他の研究者と進めている共同研究では、1990年代後半からの経済環境の大きな変化の中で、日本的経営がどのように姿を変えてきたのか、あるいは客観的な価値判断基準を兼ね備えた欧米的な経営モデルが「企業価値創造経営」として表出するにあたり、いかに企業がそれに対応してきているのかについて分析を進めている。

(3) 本研究は、連結財務諸表中心へのディスクロージャー制度への移行、会社法や独占禁止法の改正による法制度の変化など、この20年以内に進められてきた多様な社会観、環境の変化がどのように影響を与えるかを分析することを主眼としており、分析対象が多岐に渡る。他の共同研究との連携を図りながら、本研究をさらに深みのあるものにしていく必要がある。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

(1) 飛田 努「企業価値向上のためのマネジメントコントロールシステムの分析視角～2000年代における企業観の変化と管理会計への影響～」熊本学園大学大学院会計専門職研究科『会計専門職紀要』第1号, 37-52頁, 査読無, 2010年

(2) 飛田 努「連結経営と企業グループの再編～企業価値創造を目標とした組織構造の構築と財務戦略～」坂本恒夫・松村勝弘編『現代の財務経営(8)』第12章, 195-214頁, 査読無, 2009年

[学会発表] (計1件)

(1) 飛田 努「連結経営と企業価値創造－企業グループ内上場子会社再編に関する実証分析－」日本経営財務研究学会九州部会(於：福岡大学), 2007年4月21日